

(個人用)

行政視察等報告書 (個人用)

令和 7 年 8 月 27 日

知立市議会議長 様

報 告 者	那須幸子
日 時	令和 7 年 8 月 27 日
視察 (研修) 場所	豊田市動物愛護センター
目 的	大災害時におけるペット同行避難・同伴避難の具体的な 取り組みについて
<p>【概 要】</p> <p>○ペット避難の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・能登半島地震などの事例をふまえ、災害時のペット同行・同伴避難に備え、避難所での受け入れ体制やマニュアル作成に取り組んでいる。 『いざというときに慌てない「ペットのための災害対策」』 <p>○災害時用資材</p> <ul style="list-style-type: none">・段ボール製ハウスを実際に体験し、短時間で組み立てられ(約 20 分)プライバシー確保にも有効であることを確認した。・ソーラーパネル付きのコンテナハウスを見学し、移設可能で停電時にも電源供給が可能、犬猫の屋内飼育場所になる。 「必要な避難所等に移設可能『コンテナハウス』」 <p>○豊田市動物愛護センター</p> <ul style="list-style-type: none">・里親募集活動や動物に関する展示、啓発事業を実施。・ボランティア団体「わんワン Bonds」による学校・福祉施設訪問やしつけ教室など、市民参加型の活動を展開している。	

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

【所感】

- ・災害時には人命最優先である一方、ペットも家族の一員として同行・同伴避難の体制が欠かせないことを実感しました。
- ・豊田市では動物愛護寄附金を活用して段ボールハウスやコンテナハウスを備え、停電時にも対応可能な設備を整えており、災害時に実際に役立つ具体的な備えがあり、飼い主に安心感をあたえています。
- ・段ボールハウスは自ら体験し、短時間で容易に組み立てられることを確認でき被災者のプライバシー確保や安心感の向上につながると感じました。
- ・豊田市動物愛護センターは『人が命を大切に作る心を持ち、人と動物が良い関係を築き、人も動物も幸せで快適に暮らせる社会』を市民の皆さんとともに目指しており、平常時から里親募集やしつけ教室、またボランティアによる動物介在活動や動物愛護精神の啓発活動も実施しており幅広い取り組みが行われております。
このような市民協働の仕組みが災害時の支援体制にもつながることを感じました。

【課題】

- ・知立市では、「ペット同行避難」に関する具体的なマニュアルや受け入れ体制が整備されておらず、災害時には混乱が生じる恐れがある。他市で策定している「避難所におけるペット対応マニュアル」を参考にし、知立市でも早急にマニュアル化を進める必要があります。
- ・避難所の環境整備(簡易ケージ、専用スペースの確保など)を計画的に進め、市民が安心して避難できる体制整備が求められています。
- ・能登半島地震でも見られたように、避難の長期化に伴いペットをめぐるトラブルや飼い主の心の不安が顕在化しており事前の備えが不可欠です。

◎ペットと飼い主が安心して避難できる体制(環境整備)を要望します。